

広報
かわにし

milife

かわにしの未来へつなぐ生活情報誌 [みらいふ]

10

Public Relations
Magazine
in Kawanishi City

Oct. 2024 No.1426

<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/>



郷土館
大正の静寂への誘い

かわにし  新時代へ

Topics

【特集】 三つの視点で知る郷土館の魅力 / 70周年記念イベント—消防士の仕事体験を楽しもう / 都市緑化祭と阪急バスグループお客様感謝 Day を同時開催



複製された約100個の鬼瓦

大棟の14段ののし瓦

屋根裏から軒先を支える栂木

銅の雨どいは内側のみ補修。外側の緑青は生かす

数寄屋風の一字書

家紋が入った持ち送り

改修後の旧平安邸

三つの視点で知る 郷土館の魅力

10月12日(土)
旧平安邸 見学再開

問い合わせ 生涯学習課 ☎ 072(740)1244

令和5年10月から行った耐震補強などの改修を終え、10月12日(土)から見学受け入れを再開する郷土館の旧平安邸。郷土館は歴史的にも建造物としても価値が高い施設である他、多くの催しが行われています。今回の特集では市民の皆さんにも意外と知られていない、その魅力を構造・歴史・催しの三つの視点で紹介します。

開館時間…午前10時～午後4時半(入館は4時まで) 休館日…月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)・年末年始 入館料…19歳以上300円、18歳以下150円。小・中学生はひょうごっ子ココロンカード提示で無料。高齢者・障がい者(介護者1人も)・団体は割引あり

構造

郷土館は国登録有形文化財の旧平安邸・旧賀邸などからなる施設です。旧平安邸は県の景観形成重要建造物に、旧賀邸はひょうごの近代住宅100選に選ばれています。

旧平安邸の改修は、飛鳥時代創業の世界最古の企業で、四天王寺の再建工事や国宝住吉大社本殿の保存修理を手掛けた(株)金剛組が行いました。

旧平安邸は、この地方の伝統的民家の特徴と明治以降広まった数寄屋風※の造りに加え、厚さが一様でない大きな手作りのガラス窓や浴室・洗面所のタイルなど、技術的革新と近代性を備えた和洋折衷の建造物です。その構造の価値を(株)金剛組技士の橋口さんに語ってもらいました。

郷土館は国登録有形文化財の旧平安邸・旧賀邸などからなる施設です。旧平安邸は県の景観形成重要建造物に、旧賀邸はひょうごの近代住宅100選に選ばれています。

旧平安邸の改修は、飛鳥時代創業の世界最古の企業で、四天王寺の再建工事や国宝住吉大社本殿の保存修理を手掛けた(株)金剛組が行いました。

旧平安邸は、この地方の伝統的民家の特徴と明治以降広まった数寄屋風※の造りに加え、厚さが一様でない大きな手作りのガラス窓や浴室・洗面所のタイルなど、技術的革新と近代性を備えた和洋折衷の建造物です。その構造の価値を(株)金剛組技士の橋口さんに語ってもらいました。

百年の価値に 千年の技で臨む

(株)金剛組 一級建築施工管理技士 橋口正さん

完全な保存と貴重な木材

大正から100年以上、ほぼ完全な状態で主屋や蔵、納屋など近代和風建築一式が残っている旧平安邸は非常に貴重。一つでも欠けると一気に価値が下がってしまうんです。

木材は高品質な松と檜を大黒柱に使い、桧や杉も無節の材木を加工して戸襖や廊下を使うなど、贅沢な造りとなっ



① 1本の巨木の継ぎ目のない板材を使った戸襖

② 手作りガラスと1本の巨木の継ぎ目のない板材を使った廊下

③ 松の大黒柱。柱の収縮と割れを防ぐために柱の一面から中心までノコ目を入れる背割り

④ 既存の物を生かし、質感や色を合わせる補修

⑤ 大黒柱同士をつなぐ天井裏の梁。曲がったものを使うことで耐久性を上げている

⑥ 数寄屋風の廊下の化粧垂木

⑦ 床の間の数寄屋風床柱

⑧ 夏は畳、冬は襖

⑨ タイルを使った近代的な浴室

郷土館のどこかにいるよ。探してみてね

修繕は古いものになるべく残すように、経験豊富な技術社員と宮大工が手を入れる部分を判断します。

風合いが変わらないよう、質感や色を合わせる、木と木の接続部分はなるべく金属を使わないなど。郷土館の価値が下がらないよう、金剛組が1400年以上積み上げてきた技で仕上げました。

素材を生かす匠の技

館長と技士が動画で語る郷土館

旧平安邸 耐震補強改修等工事竣工記念講演会

講演会 専門家が語る旧平安邸の魅力

10/12(土)午後1時半～3時半 ▶場所:郷土館 ▶費用:入館料 ▶定員:30人 ▶申し込み:10/1(火)から電話で同館へ(先着順)

神戸大学名誉教授で市文化財審議委員会委員長の足立裕司さんの講演「住宅史の中の旧平安家住宅」と、工事の設計監理をした(特非)阪神文化財建造物研究会の工事内容の報告。旧平安邸見学あり。詳しくは郷土館☎072(794)3354へ。

旧平安邸 耐震補強改修等工事報告展

報告展 古い素材を生かす匠の技

10/12(土)～11/27(水) ▶場所:郷土館 ▶費用:入館料

旧平安邸耐震補強改修等工事の様子を写真や資料で報告。また、工事前に使っていた鬼瓦や銅板なども展示。詳しくは郷土館☎072(794)3354へ。